



碧の風

千葉市立川戸中学校

校報 第1号

令和4年4月14日

令和4年度が始まりました

板垣 章子

初夏を思わせるような気温上昇を受けて、気の早いカエルの鳴き声がどこからともなく聞こえてきます。川戸中学校は新入生を迎え、総勢162名の全校生徒で新年度をスタートさせました。入学式、新入生歓迎会を終え、1年生も上級生も、その生き生きとした表情には、適度な緊張感と意欲が満ちあふれています。

これまでの2年間、学校は、新型コロナウイルスに振り回されてきました。しかし感染対策を講じながら、教育の場としての役割を果たすべく工夫を凝らし、さまざまな知見を積み上げてきています。今年度はこれまでの経験をもとに、全校生徒参加による対面式集会に踏み切りました。それは、本校が小規模校であり、全校生徒が集まっても他校の1学年分と変わらないことを考慮したものです。入学式も2、3年生が見守る中で1年生の入学を祝うことができ、本来のあるべき姿に一步進めることができました。

しかし、そのような場でも相互の距離を十分にとり、マスク着用や換気を徹底させています。また、日々の基本的な感染症対策も、決して手を抜くことはできません。登校時の昇降口での手洗い、念入りな健康チェック、給食時の黙食など、これまでの対策を継続するとともに、生徒一人一人の意識を高めることでコロナの時代を生き抜いていくほかありません。

部活動の仮入部が始まり、新しい顔ぶれが部活動に活気を促しています。これからの時期は、生徒総会、体育祭、3年修学旅行など、生徒たちの活躍の場は盛りだくさんです。学校教育目標「進んで考え みんなで育つ 『高め合う 助け合う 認め合う』」を掲げ、小中一貫教育校としての利点を生かしながら、新たな1年間を教職員一同、鋭意努力してまいります。

どうぞよろしく願いいたします。